犬狼伝説

KERBEROS PANZER COP

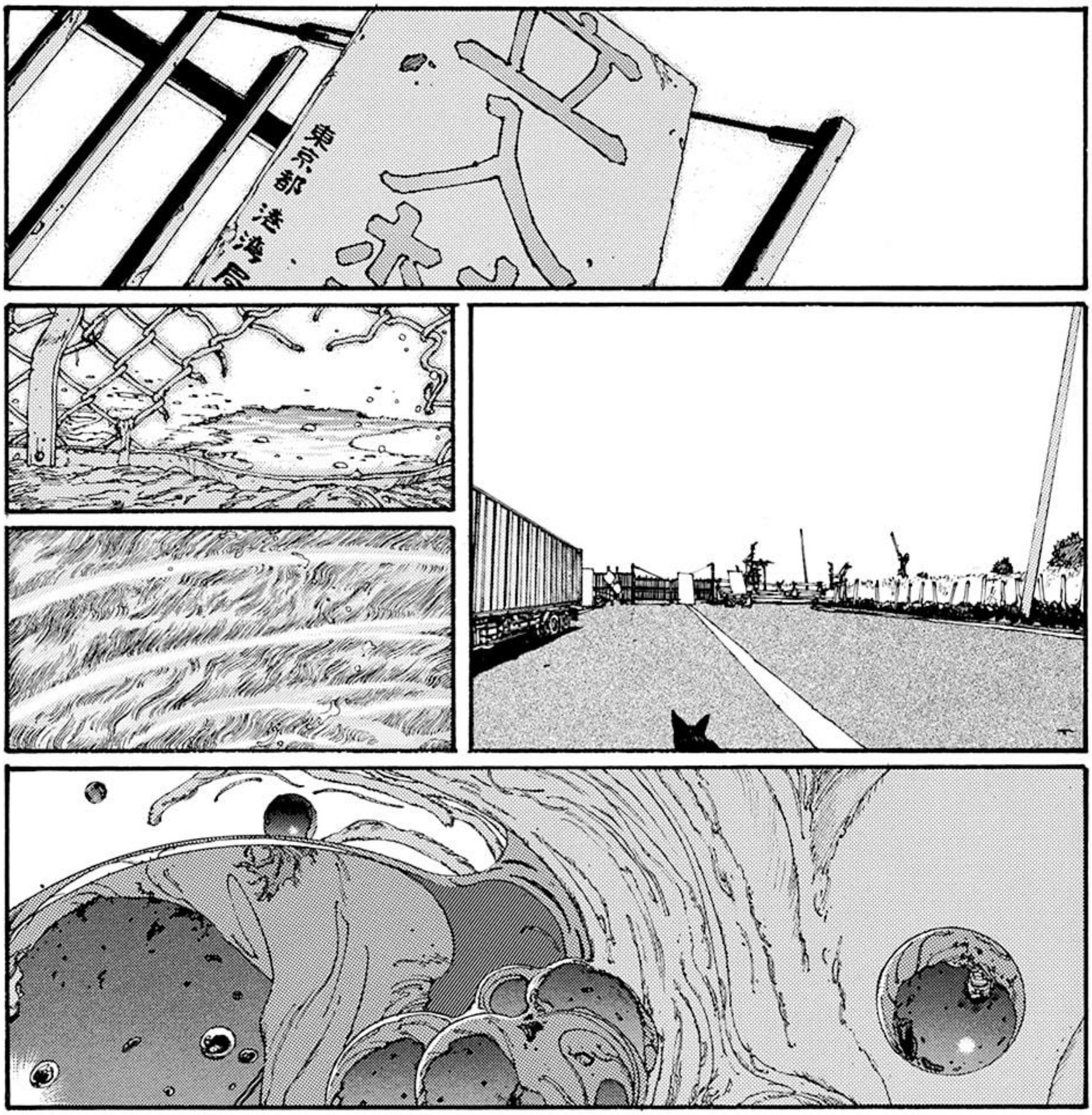
ACT.3

原作
押井守

作画
藤原カムイ

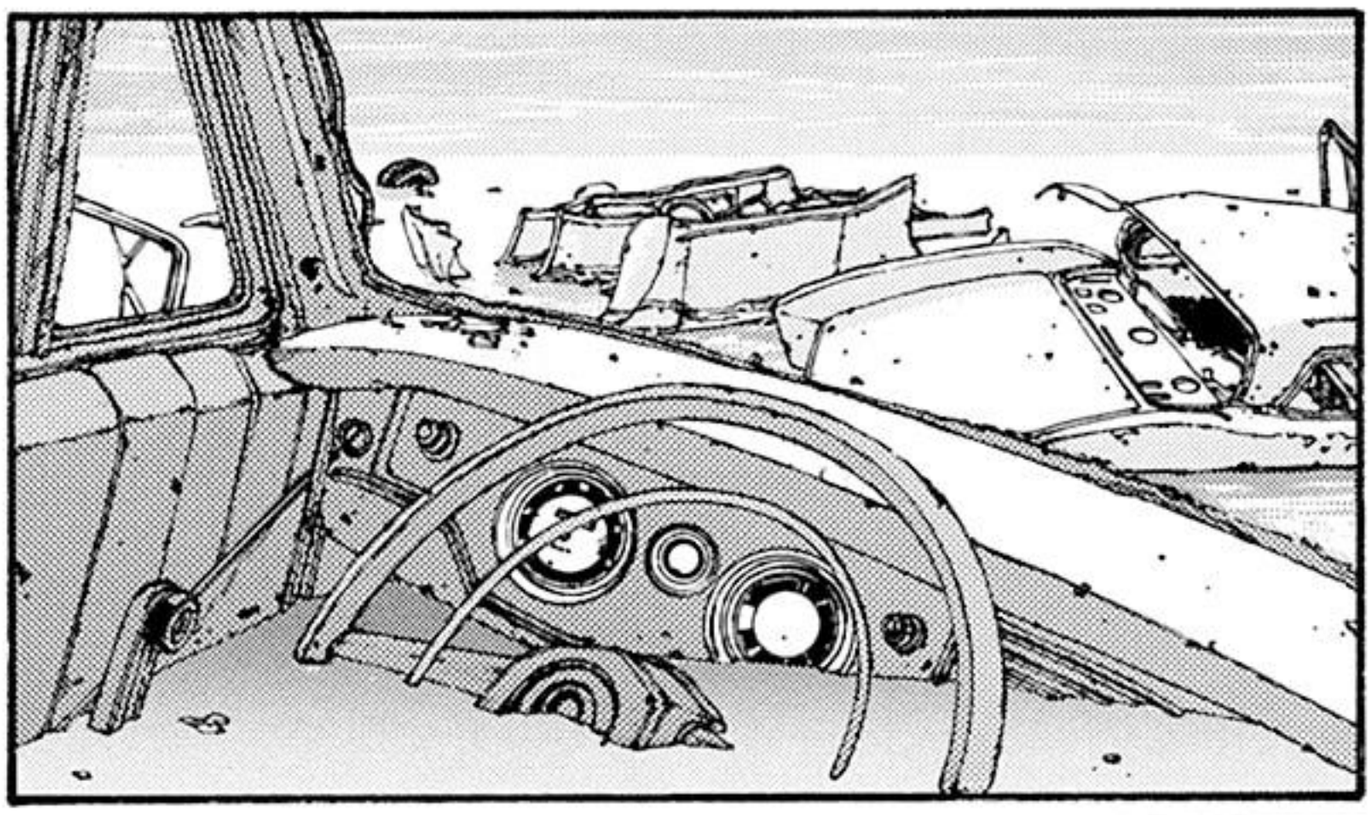
ACT.3 野犬

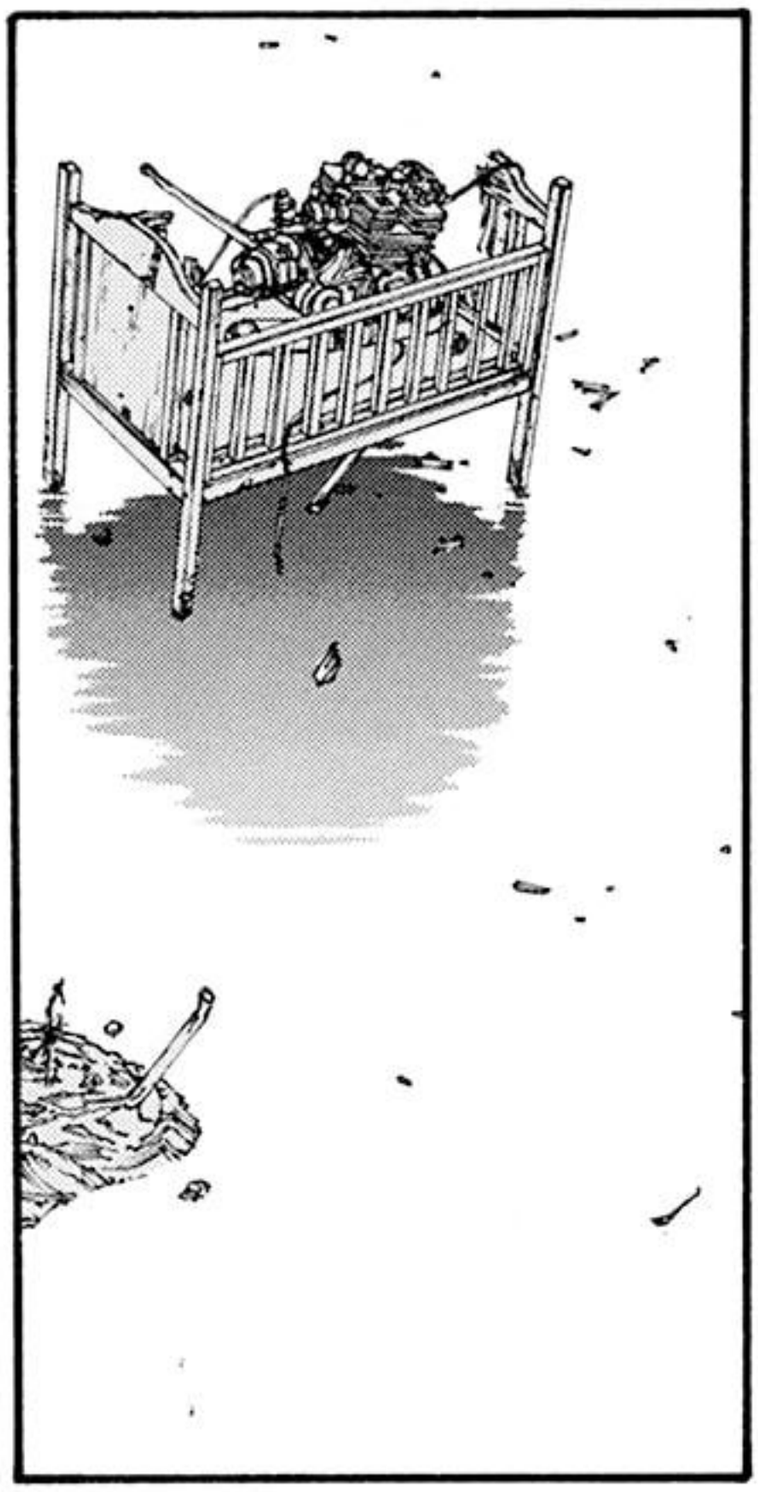
THE STRAY DOG

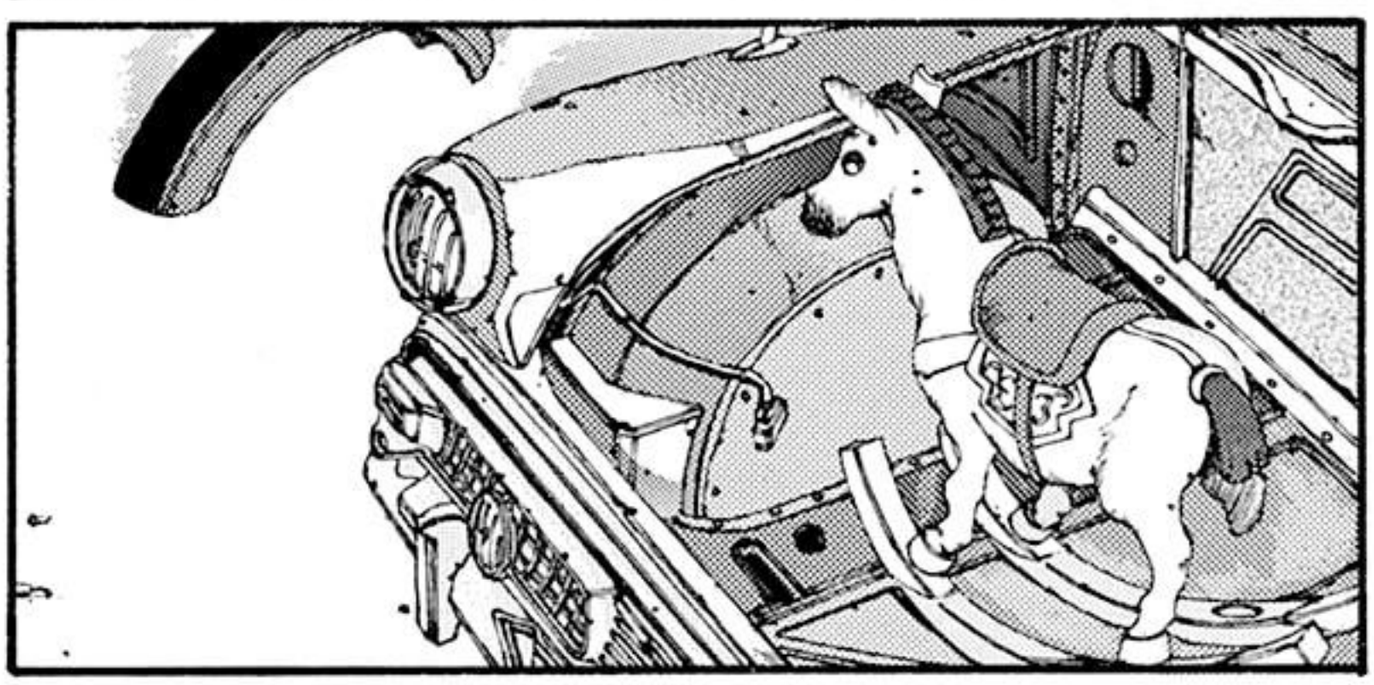


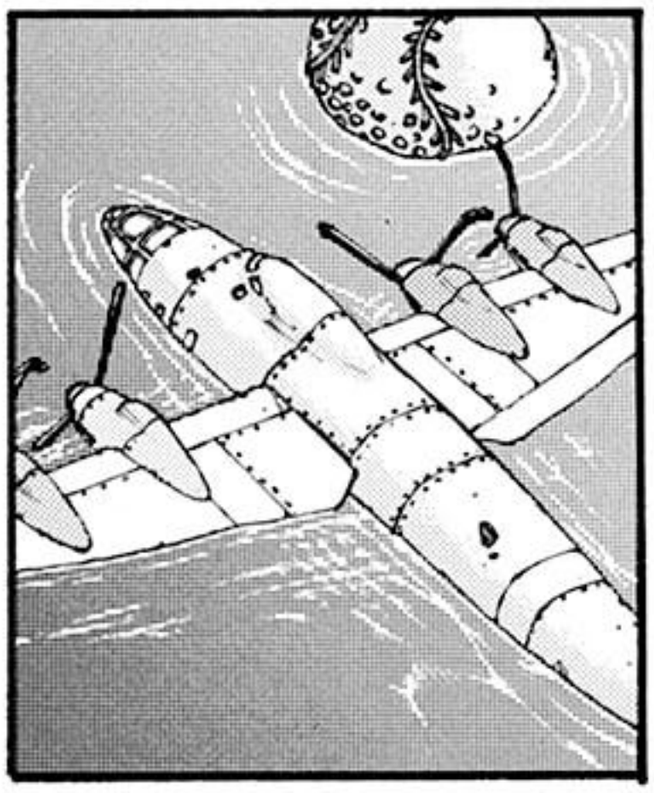
湾が獣の口とすれば、
それに沿って海に突立つ数々の埋立地は、
さしずめ東京の牙のように見える。

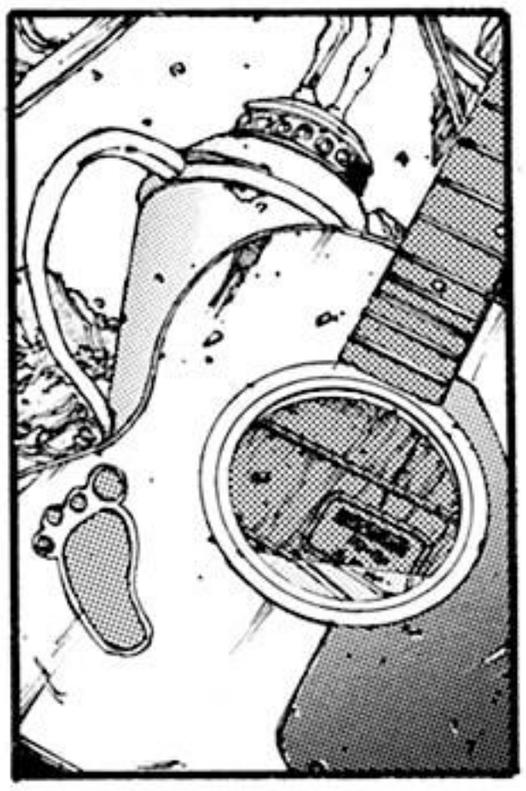
（藤原新也『東京漂流』より）

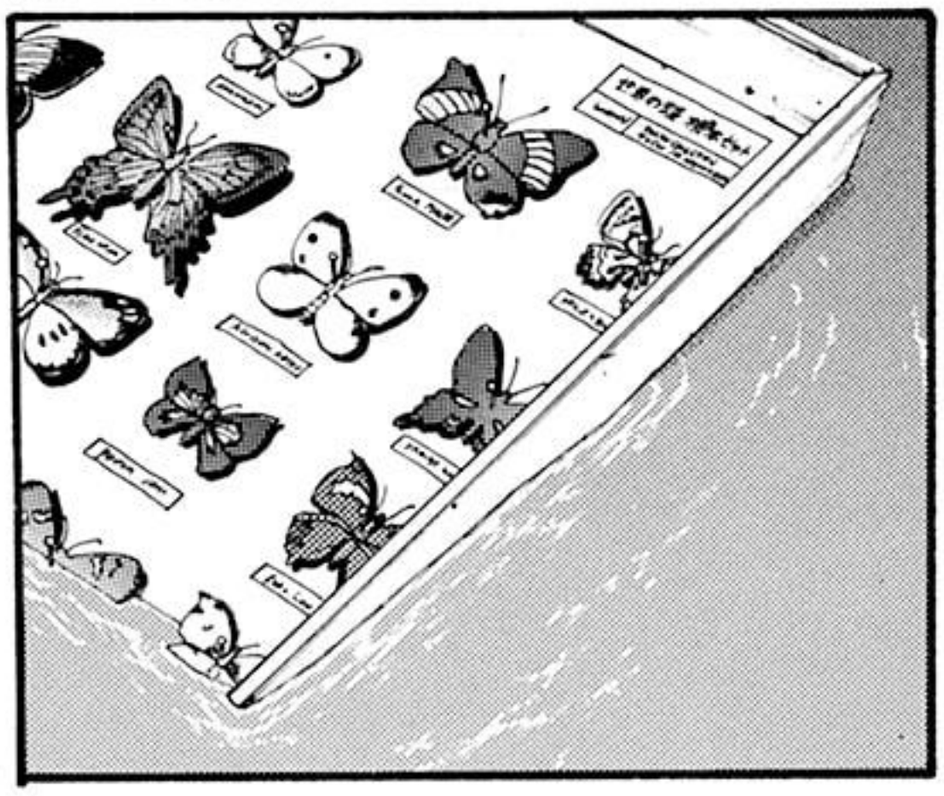


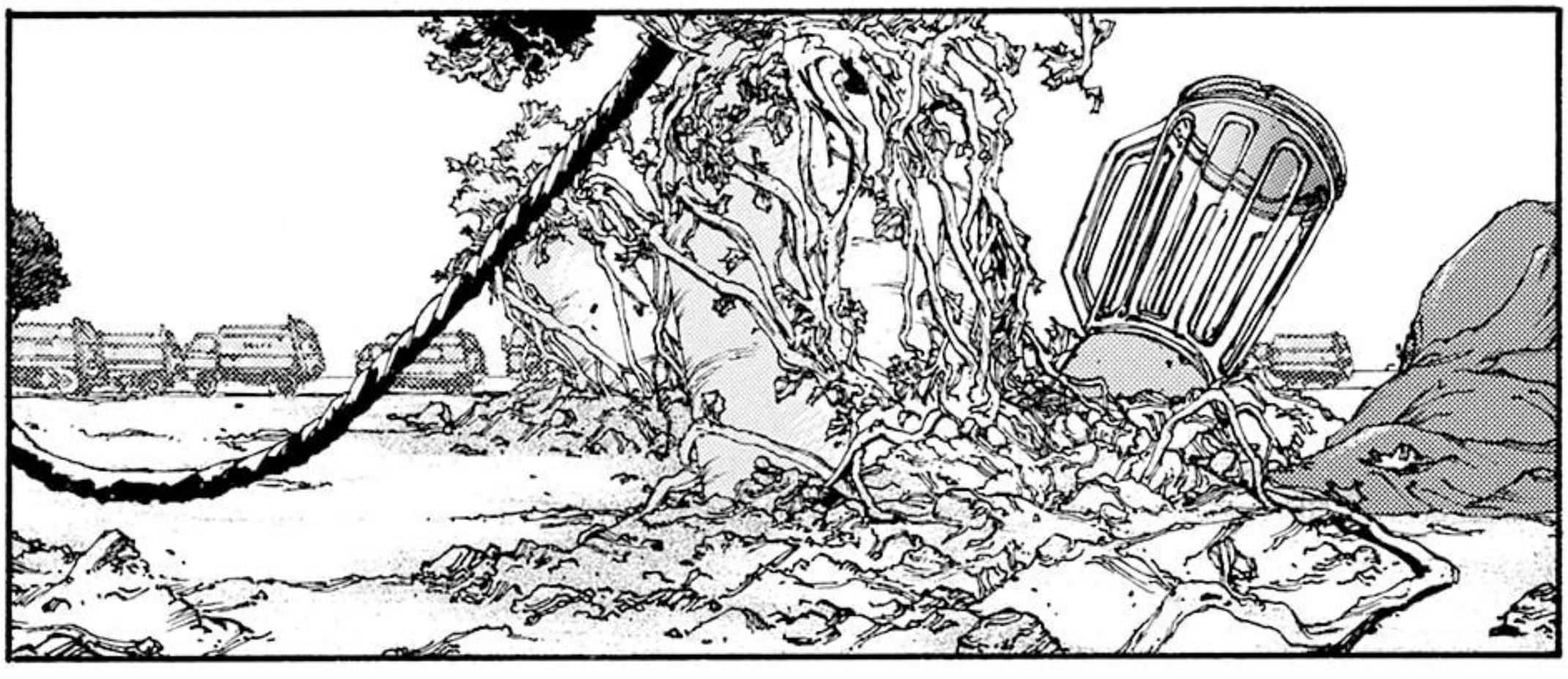


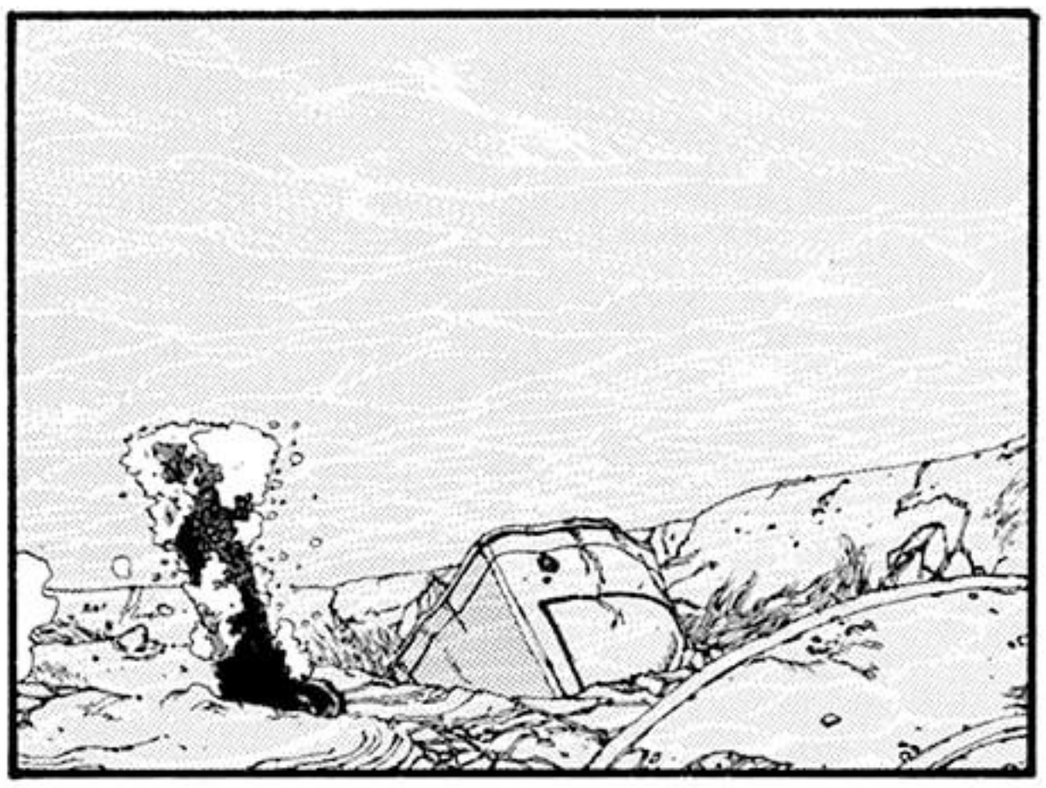


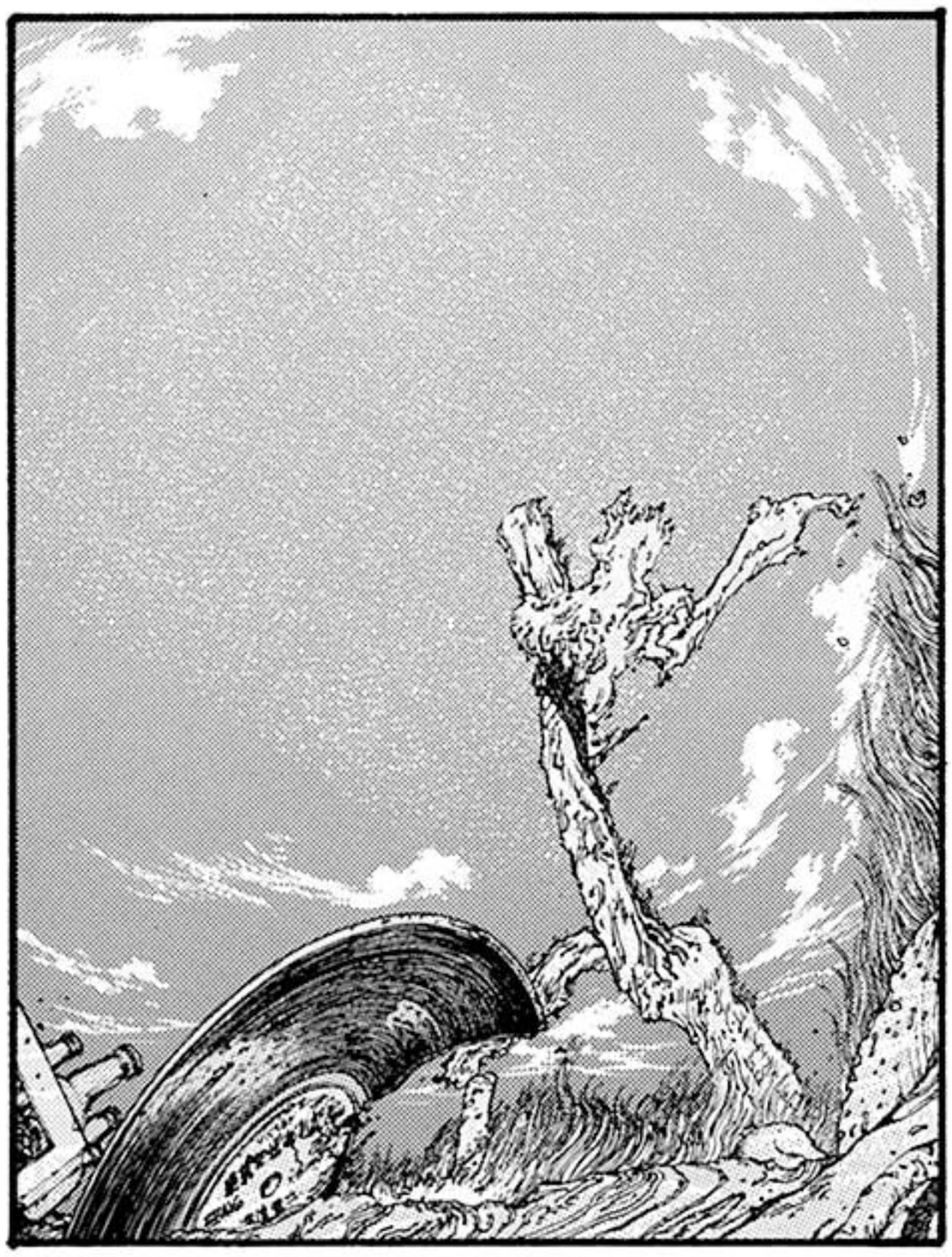


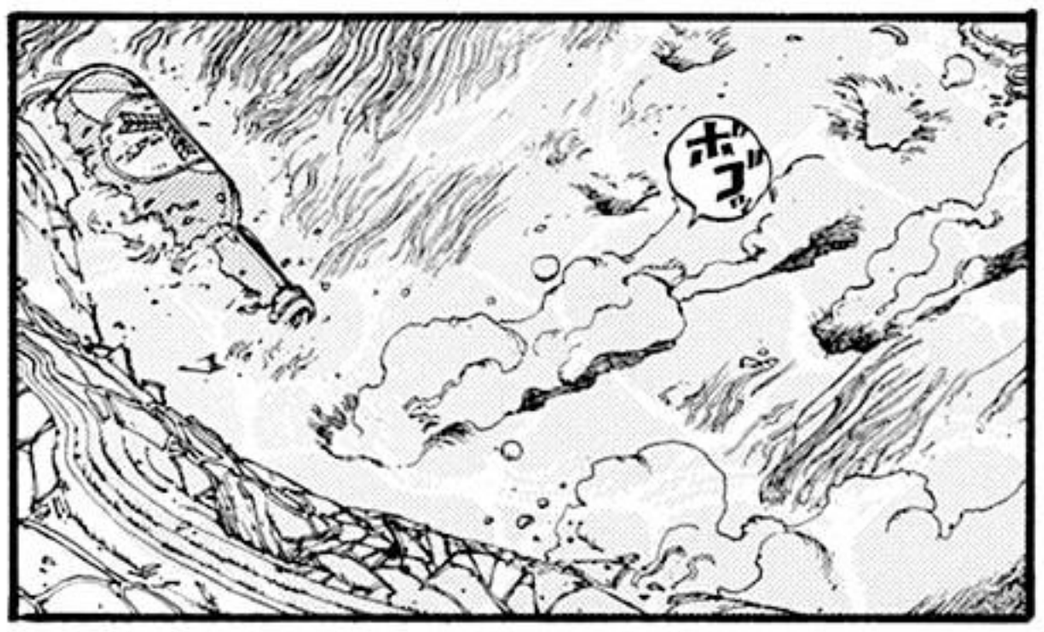


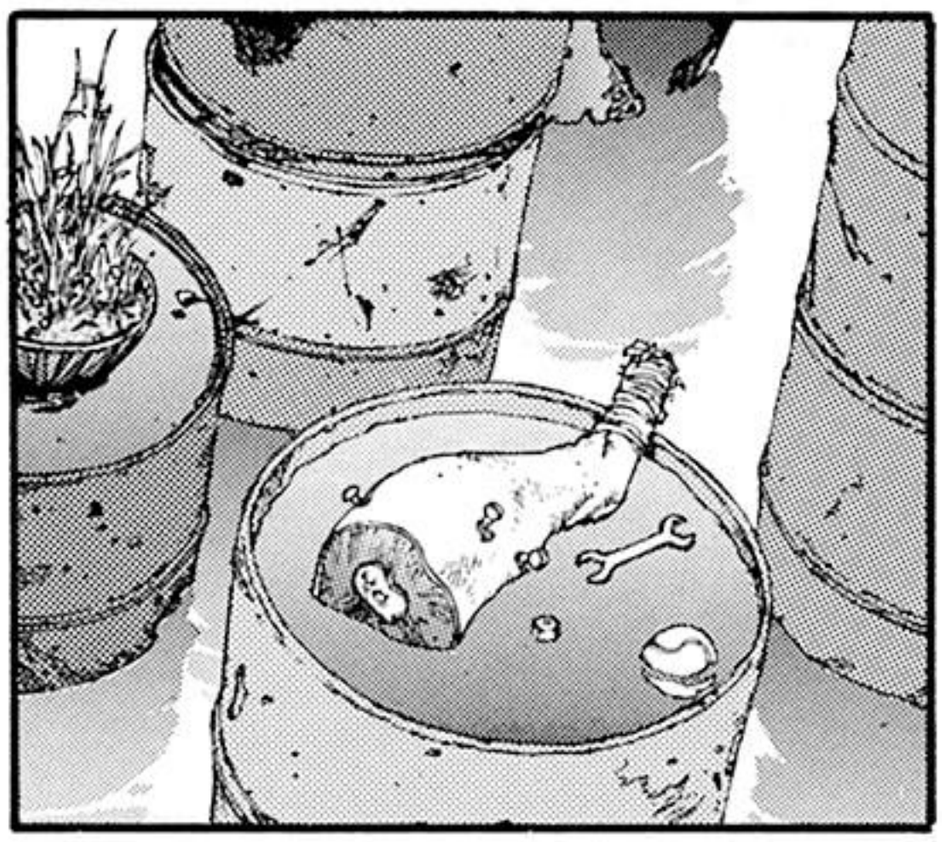


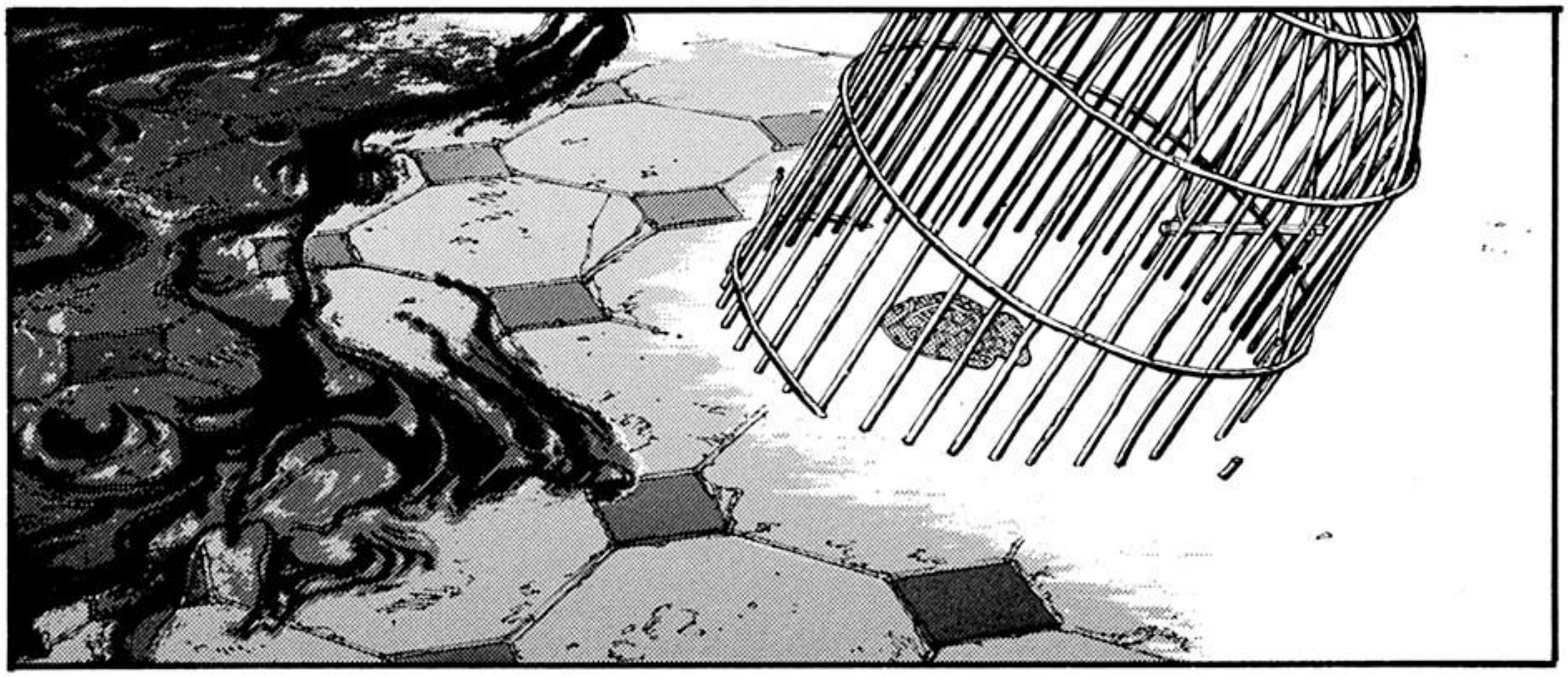


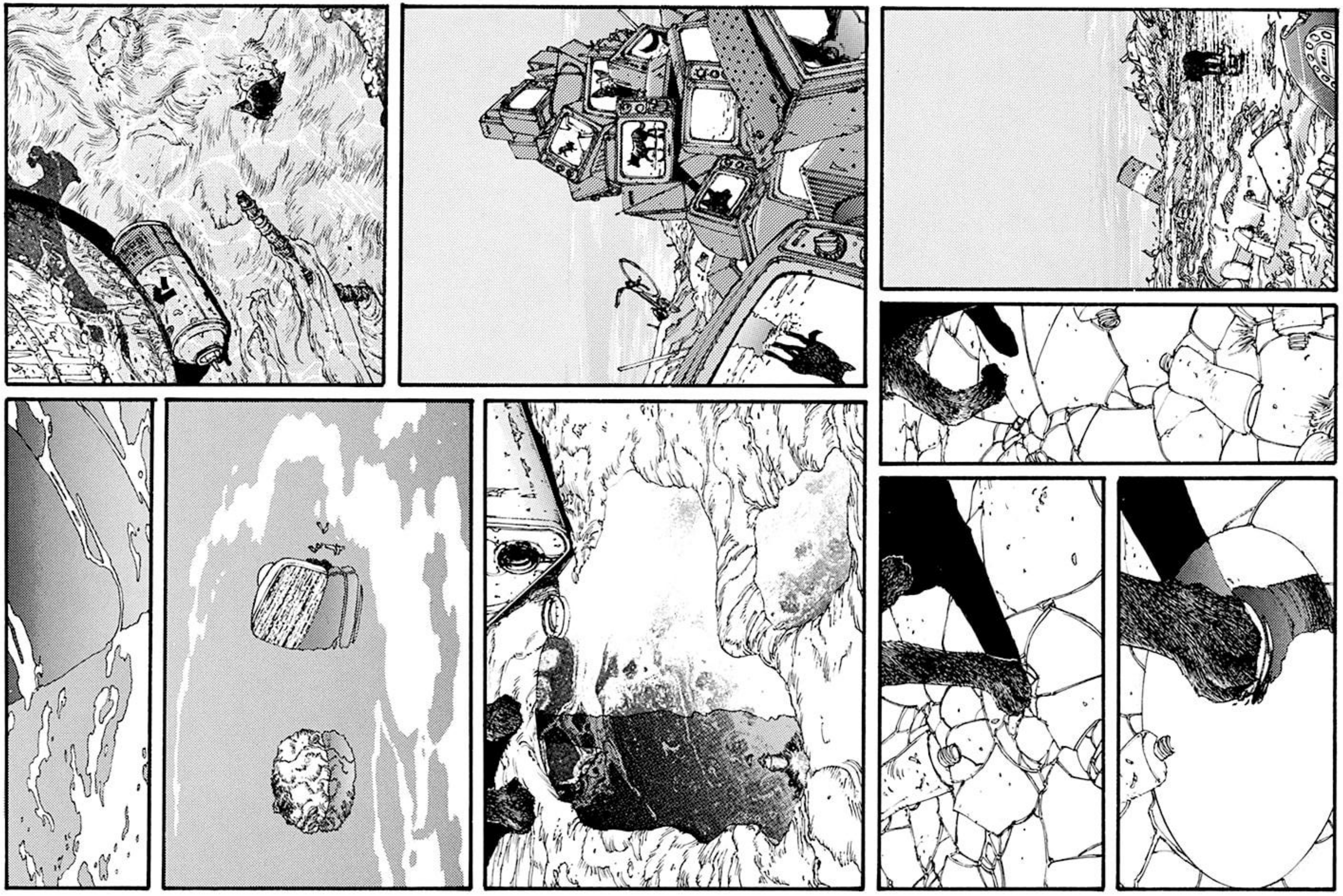


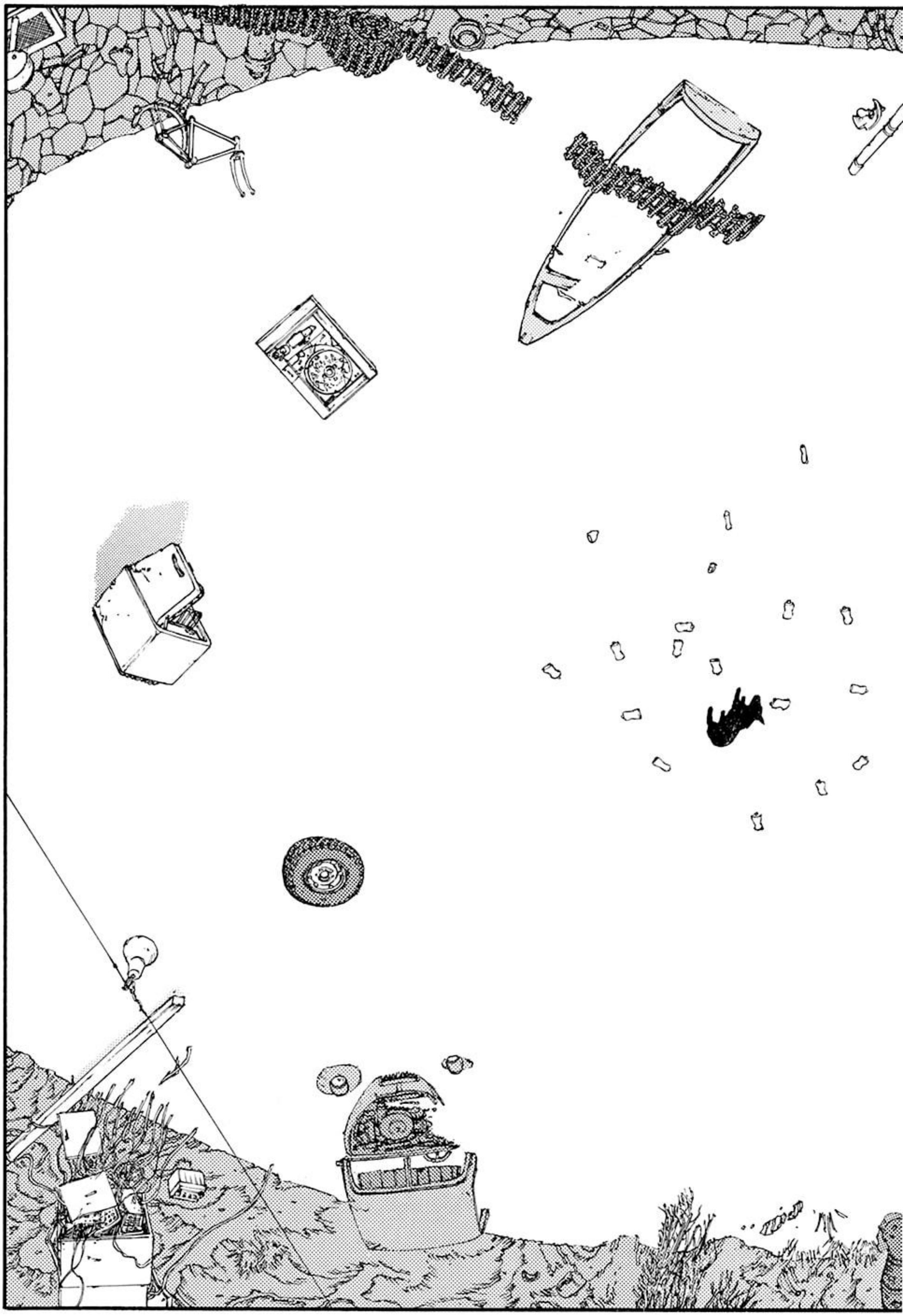


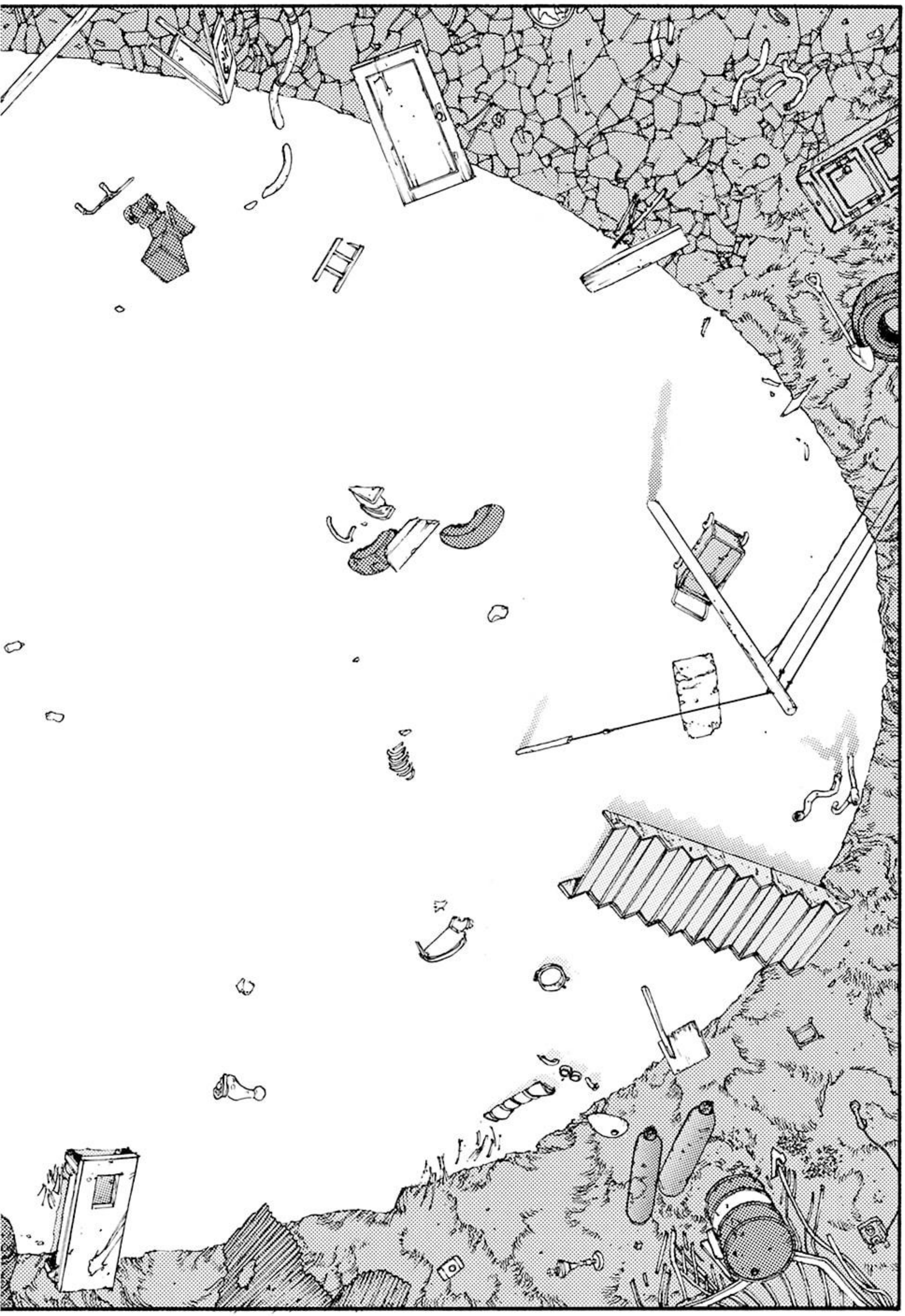

ボゴッ

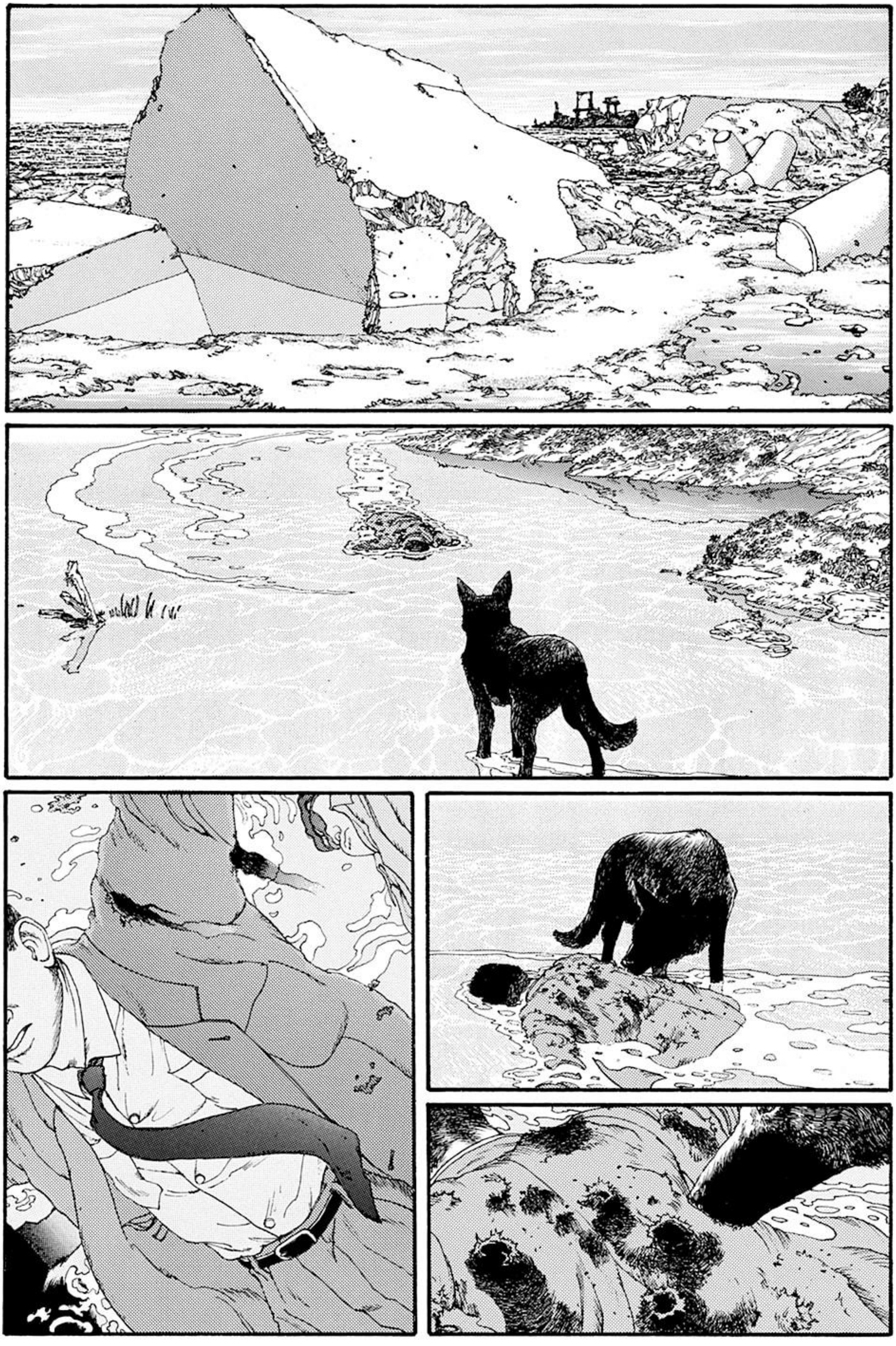


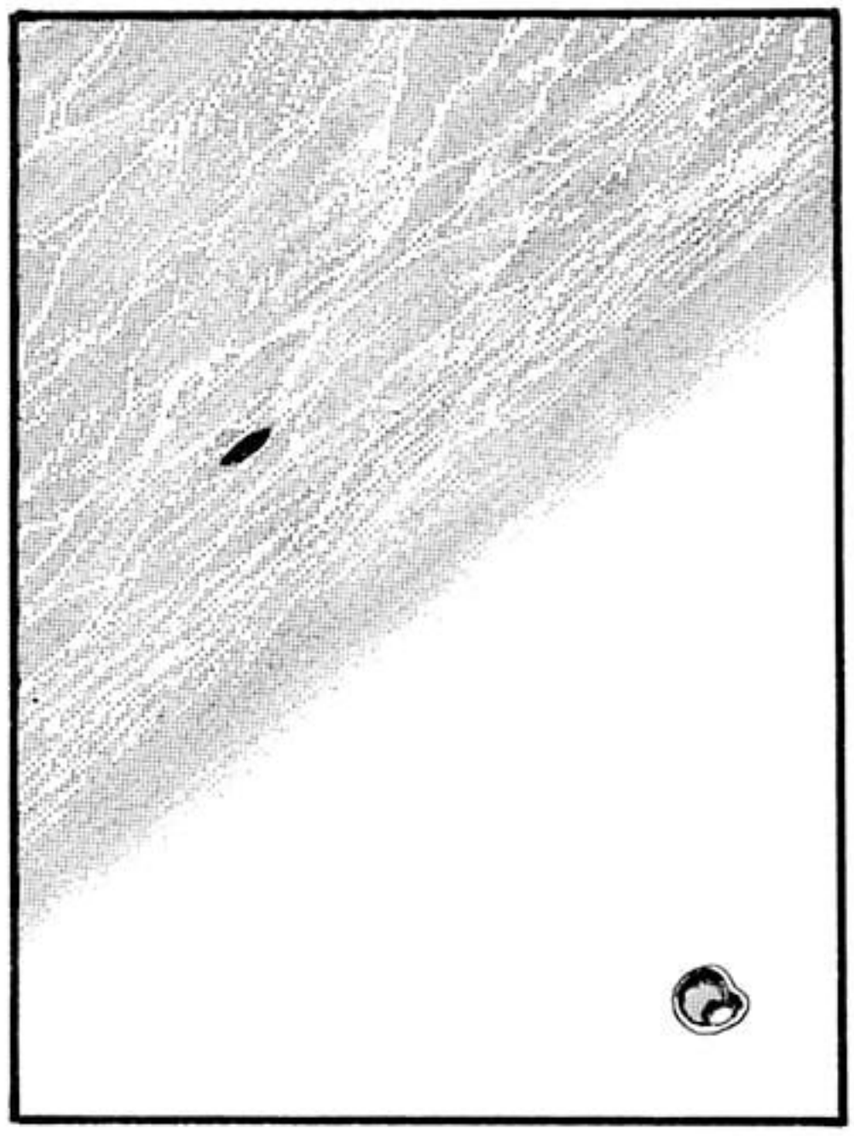












犬だろう 捨てられて迷い込んだのかこの辺には多いそうだ
世代を経て野性化した群れもあると聞いている
……
それより考えてもらえたかな

我々自身も
大きなリスクを
犯しているのだ
この情勢下に
警備部の人間が
首都警の幹部と
密かに会合を重ねる
ということがどういう
意味を持つか

重ねて云うが
我々は首都警
そのものの解体を
画策する本庁の連中とは
その考え方に於いて一線を
画して行動してい
るつもりだ
創設時のいきさつ
はともかく過去数年にわたり
首都警がこの国の治安の
維持と果してきた役割に
ついては充分理解してるし

それも君が組織した公安部の
活動に負う所が大きいと
考えている 我々は君と君の
公安部を高く評価してい

首都の治安が鎮静化の方向
を辿りはじめたとはいえ
反政府勢力の力はまだまだ侮れぬ
ものがある 地下に潜行したことで
むしろその組織力が強化されつつある
ことは頻発の傾向にある彼等の破壊
活動の例からも明らかだ

我々を取り巻く状況は
大きく変わりつつあるのだ
武力による正面対決を避け
公安活動を中心とする治安
体制を速やかに確立せねば
ならん その為には組織の
統合指揮系統の一本化
こそが緊急の課題なのだが

首都警潰しに狂奔し
とる総監部の連中には
そのことが分からん
のだ！

本庁部内にあって多数とは
いえぬながらも現場の治安を
預かり国家の将来を真に
憂うものたちの中に我々の
勢力は着実に浸透しつつある
これに君の公安部
そして安仁屋部長の
政治力が合流すれば

首都警との組織的併合
をもって内部機構の
大幅な刷新にあてる
非公式ながら公安委員数名
の内諾も取り付けた
…ある条件付きでな

……
特機隊か

は？

……どう思う

……口先だけの下らん連中です

監察部あたりにひと睨みされれば尻尾を巻いて小屋に逃げこむ手合いだ

そんなところだろうが連中の情勢認識だけは正確だ

!?……

公安委員も本庁に対する牽制のつもりで言質を与えたんじゃありませんか

ひとつの小屋に
二匹の犬は入らん

だが二匹の犬の
その血が必要なの
だとしたら……
つがいにすれば
事は済む

どちらの
血筋が残るかは
賭けだがな

まさか

力をいくら誇ろうと
その優れた血を
残せなかった獣は
いずれ滅びる

ある種の獣は
群れの長になった時
支配下の牝の子供を
全て咬み殺す
そうだが……

時には
組織も同じ
ことをやる

……今日に
限って
何故新人
のお前を
同行したか
判るか？

……

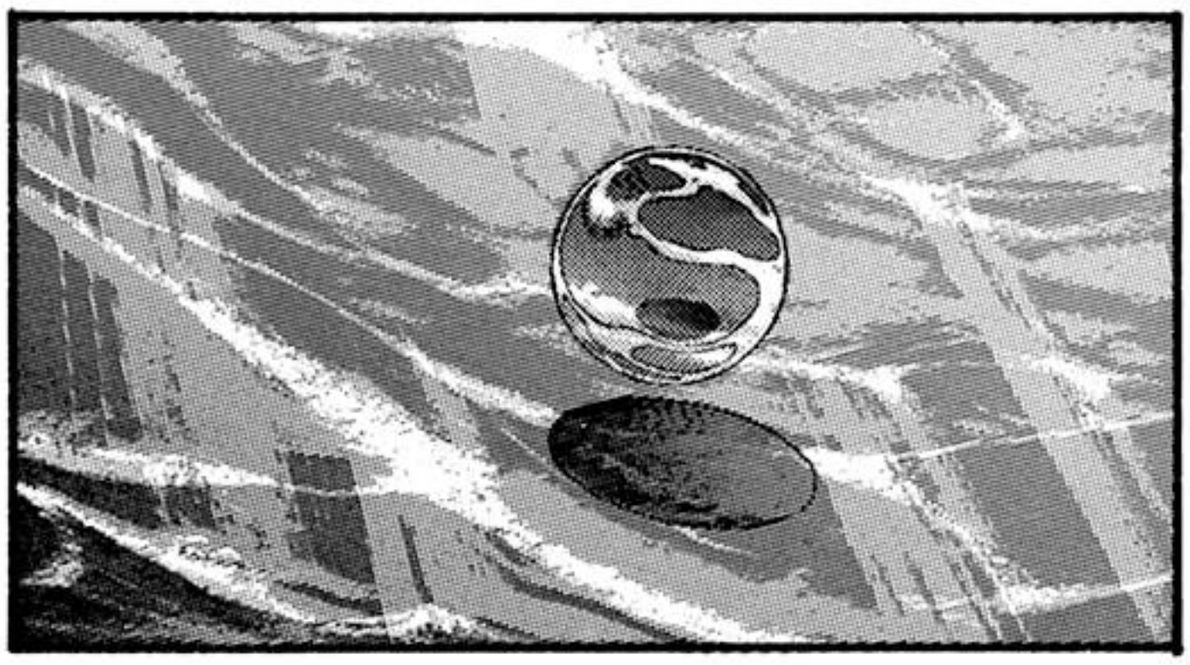
特機の隊員に友人が多いようだな

自分は〈養成校〉の出身ですし同期に特機入隊者が多いので……

非番で外出した時に偶然再会したそしてその友人が第九小隊に配属されていたのも偶然で上司に対する交遊関係の報告義務はついうっかりか

……
……

犬でしょう

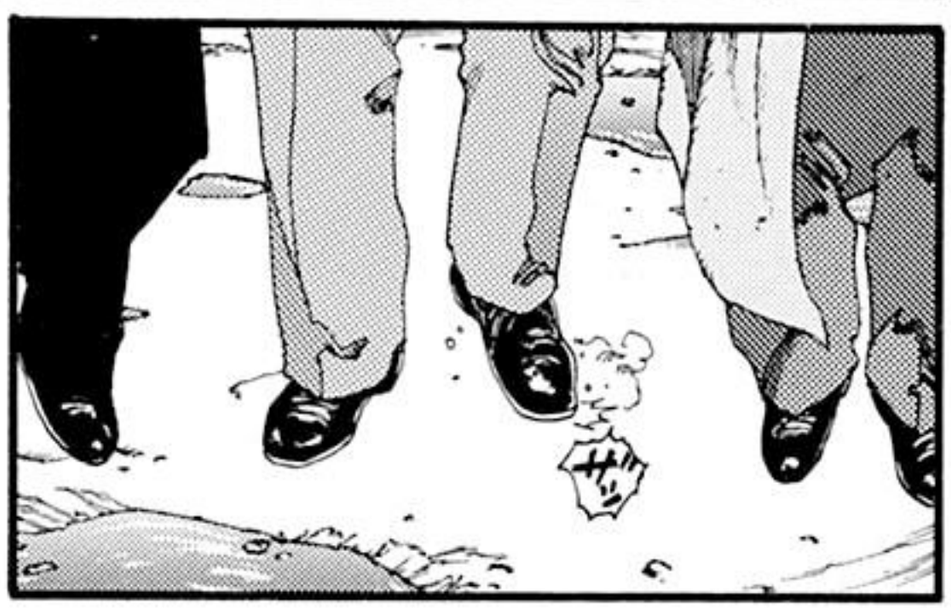


捨てられたのか迷い込んだか この辺には多いそうです

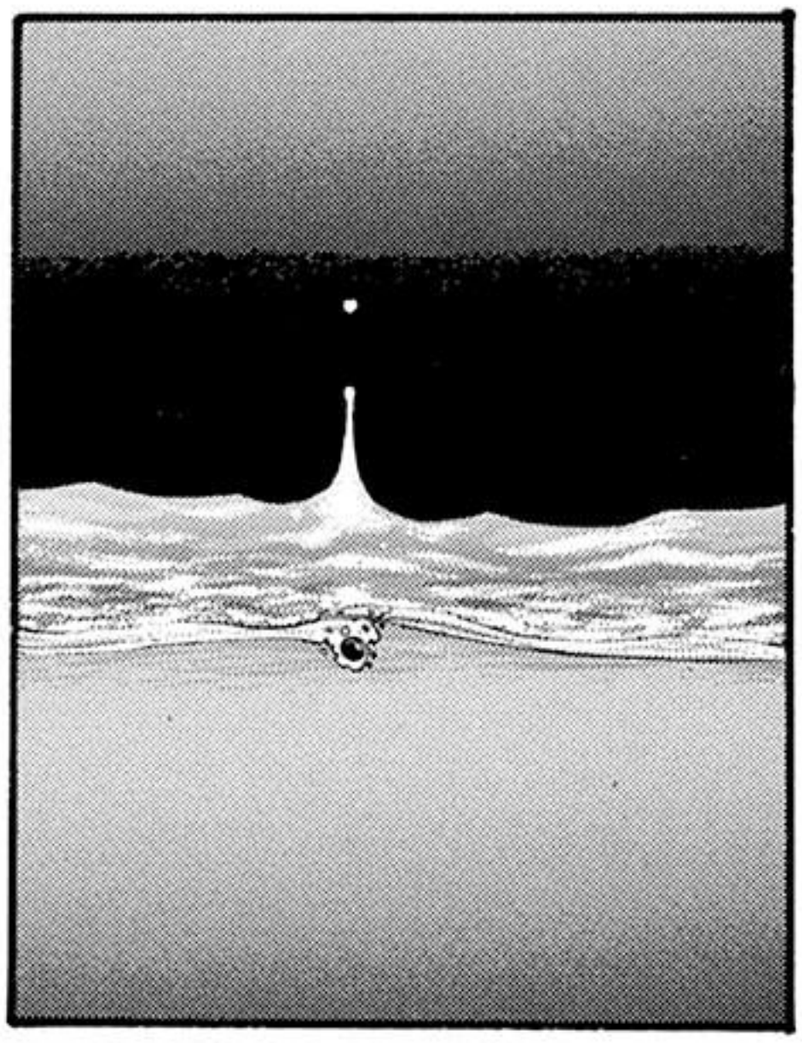
世代を経て野生化した群れもいると聞いております

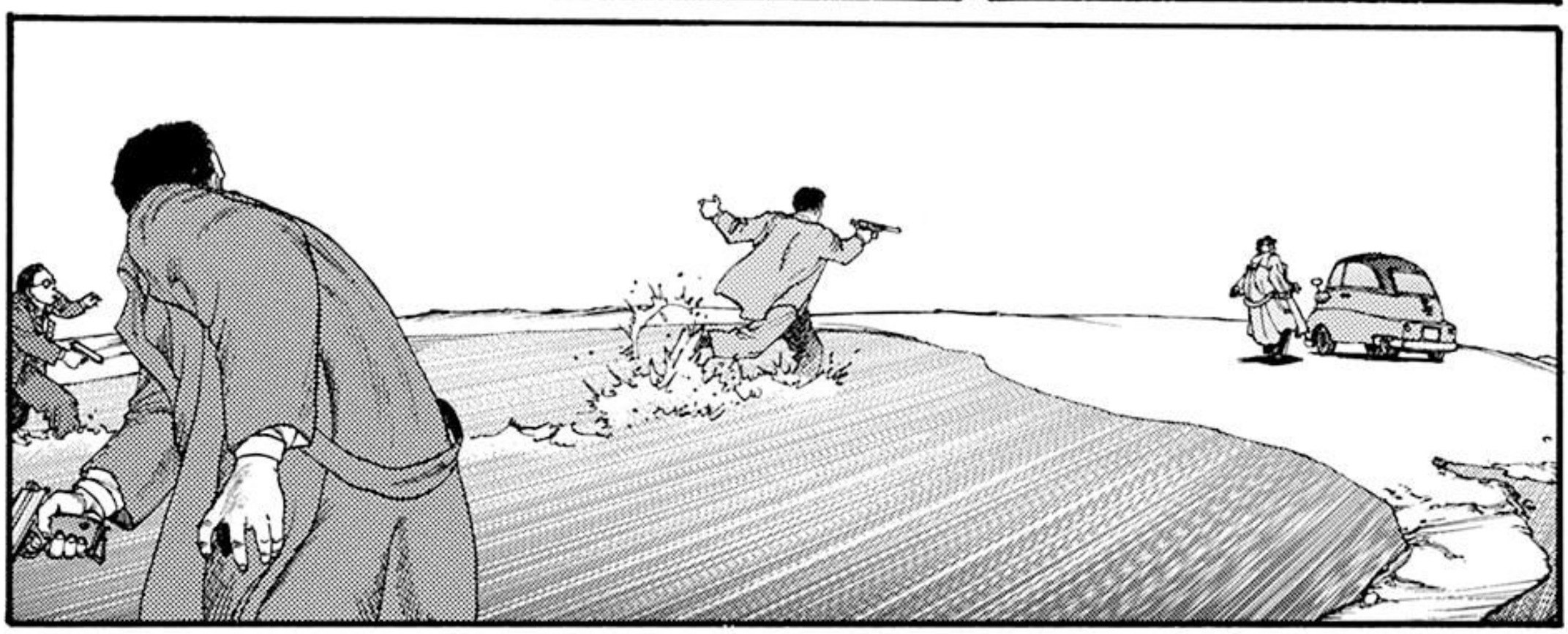
……主人を望まぬ犬!?

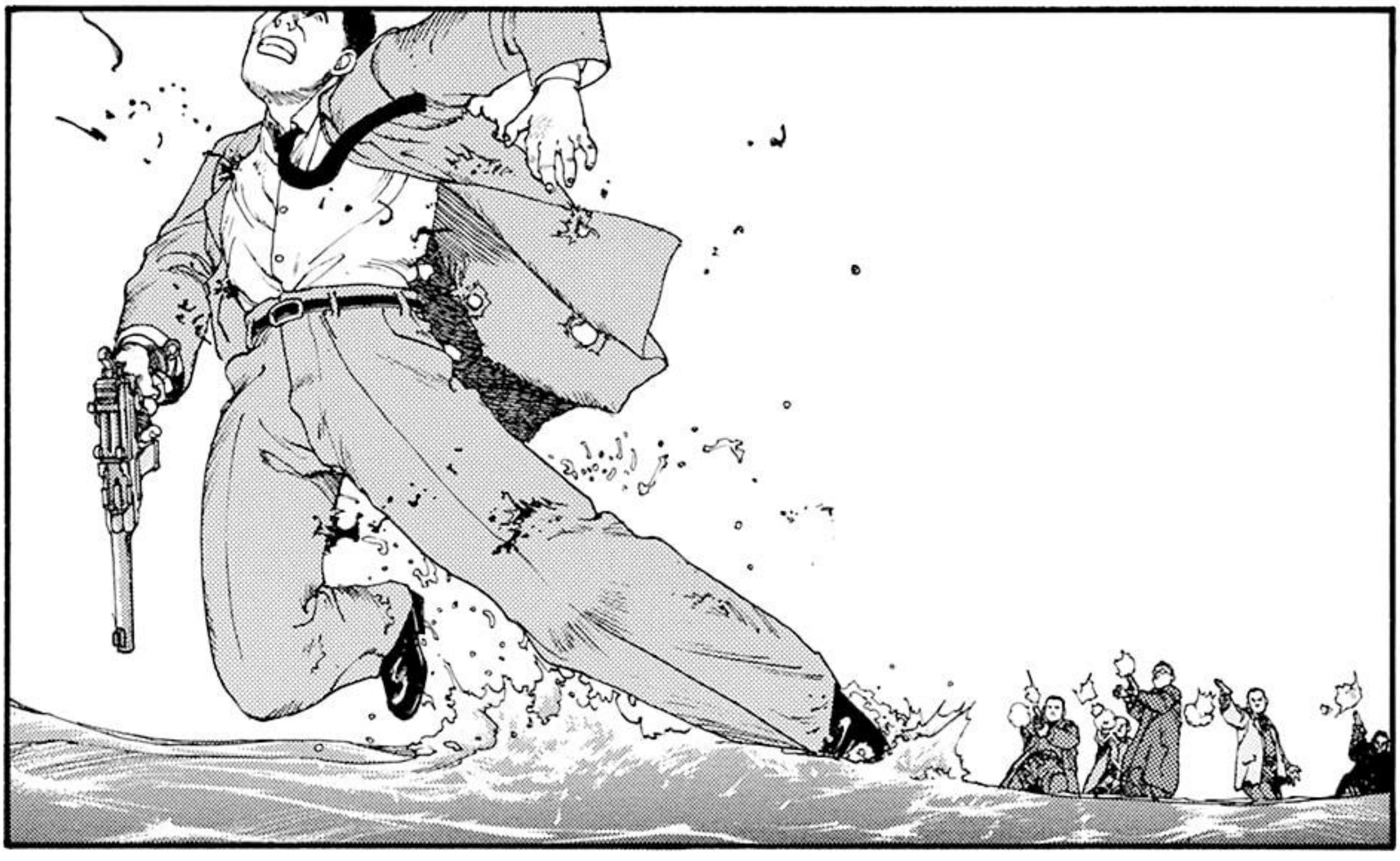
犬がその血を
残すのは誰の
為ですかね？

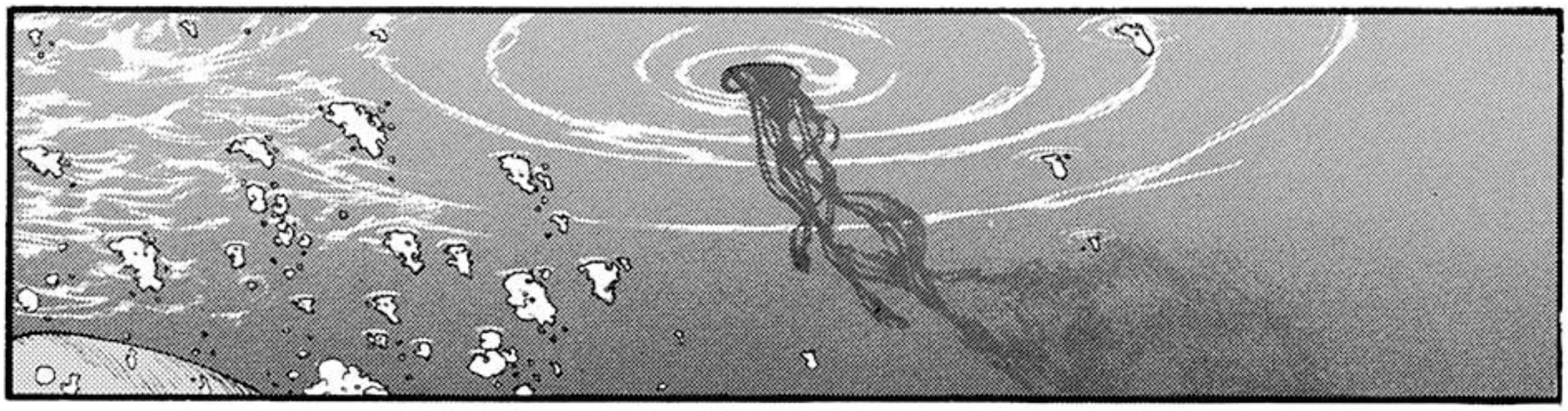

ザッ

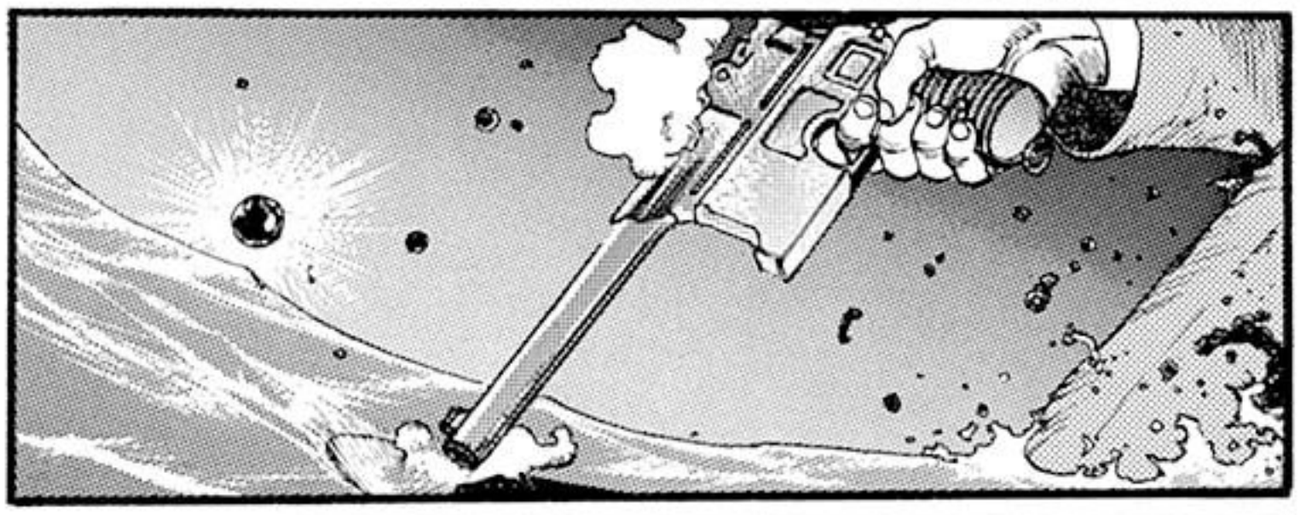
局長

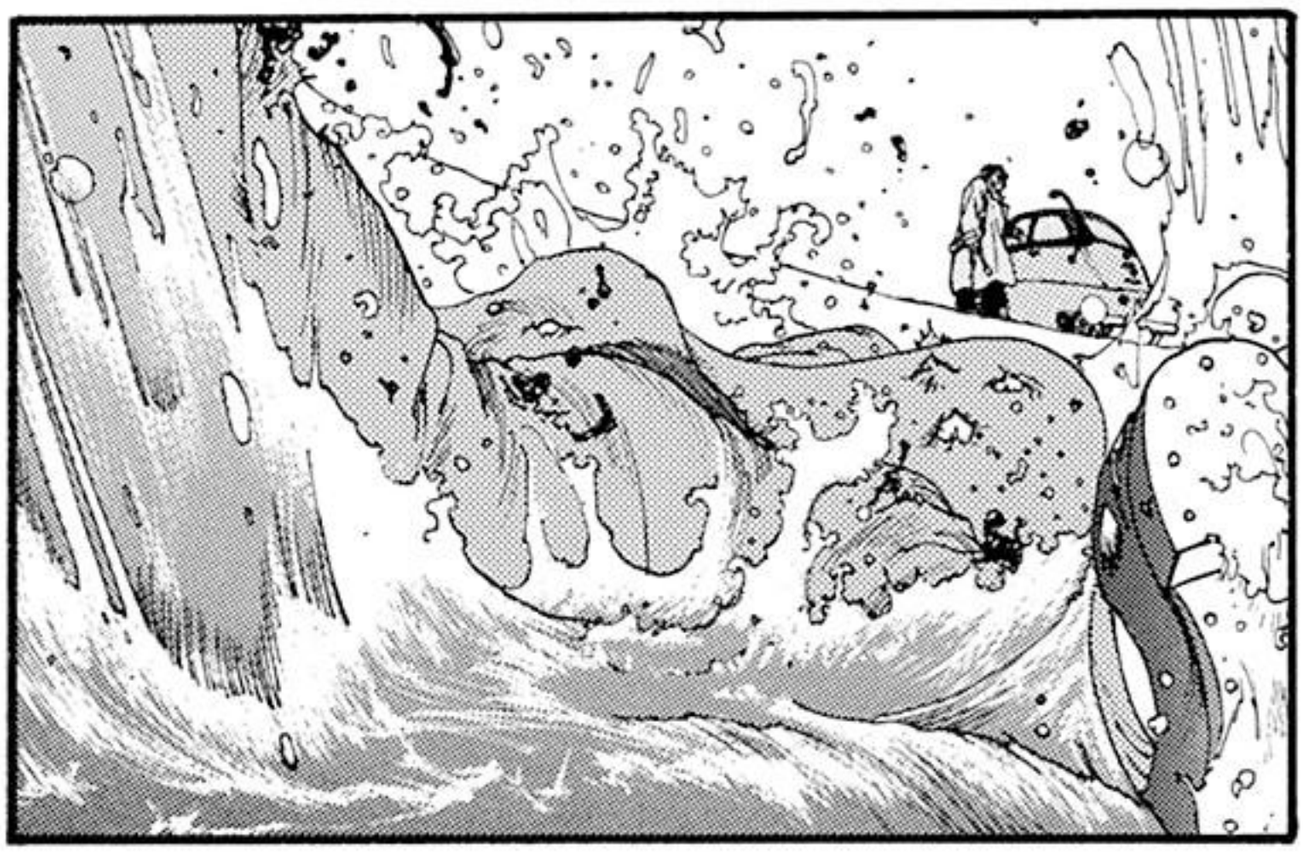


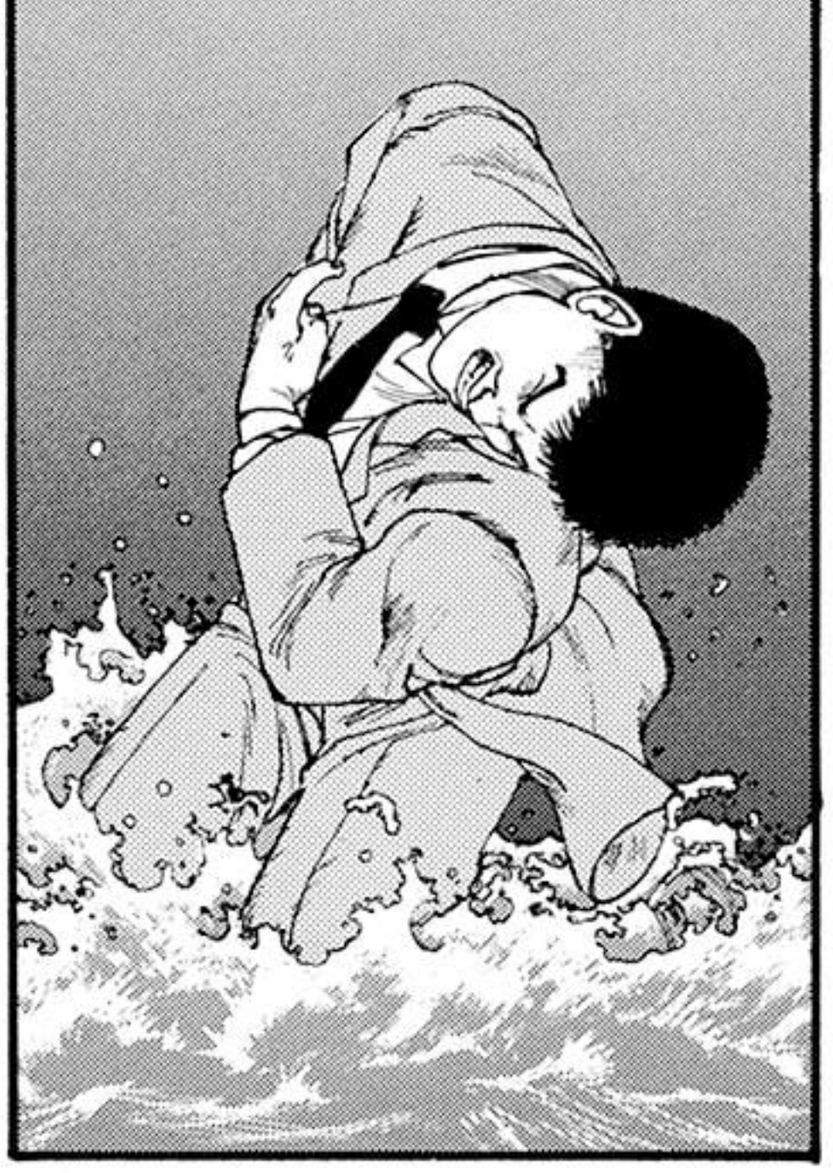


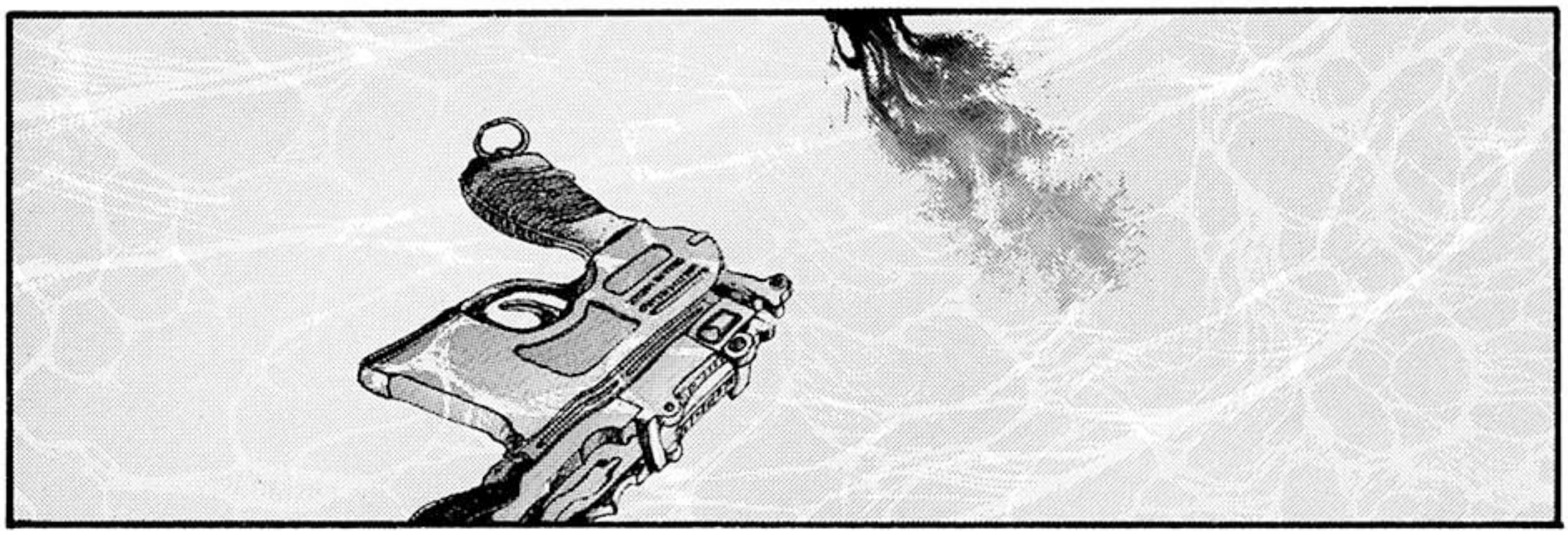












発行所　株式会社　双葉社
〒162-8540　東京都新宿区東五軒町3-28

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・無断転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。